



**2024年1月21日
1月第三主日礼拝式**

「主に向かって喜び歌おう」

(詩篇95:1-3)

主に向かって喜び歌おう

われらの救いの岩に

感謝の歌で み前にすすみ

さんびをもって 主に喜ぼう

主は大いなる神 すべてにまさって

主は大いなる神 大いなる王

聖霊なる神が

聖霊なる神が わたしの
歌を 賛美に 変えてくださる

このくちびるは 神をたたえる
このくちびるは イエスをたたえる

「さあ手を打ち鳴らし」

(詩篇47:1 ネヘミヤ8:10)

さあ手をうちならし 主のみまえに行こう

この日は聖なる日 この日は聖なる日
主のみまえに行こう

天地を造られた 主のみまえで歌おう

この日は聖なる日 この日は聖なる日
主のみまえで歌おう

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

主の教えを喜びとし

主の教えを喜びとし

昼も夜も その教えを口ずさむ

その人は 水路のそばに

うわった木のようにだ

時がくると実がなり その葉は枯れない

その人は 何をしてても 栄える

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

180 栄光・尊厳・力

栄光、尊厳、

力は主のもの

栄光 誉(ほま)れ

賛美は主のもの